



発行所  
 一般財団法人 群馬県母子寡婦福祉協議会  
 電話 027 (255) 6636  
 FAX 027 (255) 6652  
 HP <https://boshikai-gunma.jp>  
 Eメール: [gunboshi@boshikai-gunma.jp](mailto:gunboshi@boshikai-gunma.jp)  
 前橋市新前橋町13番地の12  
 群馬県社会福祉総合センター内  
 印刷所 井田印刷工業株式会社

## 全ての人がこどもの育ちを支える社会の実現のために

群馬県生活こども部長

富澤 恵子



寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。

皆様方には、ひとり親家庭及び寡婦の福祉向上のために御尽力いただきありがとうございますことに心から感謝申し上げます。

物価高騰の影響が長期化する中、ひとり親家庭及び寡婦の皆様を取り巻く環境は依然として厳しく、家計や就労など、日々の生活において多くの不安や負担を抱えておられることと存じます。こうした中、ひとり親家庭及び寡婦の生活を支援されている皆様方のひとかたならぬ御労苦に対し、改めて深く敬意を表する次第です。

また、本年4月から施行される離婚制度の見直しを踏まえ、離婚前後を通

じた切れ目のない相談支援や養育費確保への取組が、これまで以上に重要となっております。

群馬県といたしましては、ひとり親家庭及び寡婦の自立促進と、お子さんの健やかな成長を応援するため、従来から「子育て・生活支援」「就労支援」「養育費確保支援」「経済的支援」の4つを柱とした施策に取り組んでいるところであります。

今後、「全ての人がこどもの育ちを支える社会」の実現を目指して、ひとり親家庭及び寡婦の皆様の福祉向上のために、各種支援策を積極的に推進して参りますので、引き続き皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



## ひとり親家庭と寡婦の福祉向上をめざして

一般財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会

理事長 高田 啓子

蛸梅、梅、そして桃の花がほころび、春の足音が聞こえてきました。会員の皆様には健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年は、戦後八十年にあたり、報道などで様々な特集が組まれていました。

その中には戦争未亡人をテーマにした番組もあり、母子会が取り上げられていたものもありました。皆様ご存じのとおり母子会は、戦後、重大な社会問題となった母子家庭の問題を解決するために発足したものです。群馬県母子会も設立から七十五年が経ち、今年度の母子家庭・寡婦福祉県民大会では、長年母子寡婦福祉の増進に尽力してくださった会員の方を表彰し、感謝を伝えることができました。

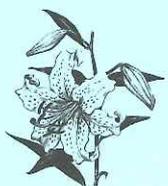
さて、本会は全国母子寡婦福祉団体協議会に加盟し、全国とつながっています。昨年は、鳥取県で全国母子寡婦福祉研修大会が開催され、こども家庭庁及び法務省からの行政説明や地区代表発表者たちによる研修討議などが行われ、有意義な経験をさせていただきました。大会後の交流会にも参加させ

ていただき、他県の方々と貴重な意見交換をすることもできました。働きながら子育てや家事を一人で担うひとり親が、母子会と関わることで必要な情報を得たり、会員同士のつながりを持つてたりと、母子会の存在意義を痛感した大会でした。

多くの方々のご支援とご協力を受けての活動となりますが、母子会はこれからもひとり親家庭・寡婦の福祉向上のための活動を続けてまいります。県をはじめ行政諸機関、諸団体の皆様方のお一層の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

### ご報告

高田啓子理事長は、令和七年五月三十一日付けで、一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会の評議員に就任いたしました。任期は四年間です。



# 第七十三回 母子家庭・寡婦福祉県民大会

◆期日 令和七年十月十九日(日)

◆会場 県社会福祉総合センター

大ホール

## 【第一部】

小林副理事長による開会宣言の後、会場は参加者による「母に幸あれ」の歌声に包まれ、一気に大会ムードとなりました。群馬県副知事、群馬県議会議長、群馬県社会福祉協議会会長等ご来賓の方々のご臨席を賜り、約百名が参加の下、厳かに式典が執り行われました。

この後、大会宣言、決議が採択され、式典は滞りなく終了しました。決議事項は次のとおりです。

## ◆決議事項

一 子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、将来に希望を持ち、安心して勉学やスポーツに励めるよう、給付型奨学金制度の拡充などの施策を積極的に推進していただくよう要望します。

一 ひとり親家庭が安心して子育てと就業の両立ができるよう、公営住宅等への優先入居及び保育所等への優先入所を確実にするなどの環境づくりの充実を要望します。

一 「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、正規雇用の拡大と継続が図られるよう、県内事業者への協力要請など積極的な正規雇用施策を講じるよう要望します。

一 ひとり親家庭の物心両面における生活の安定を確保するため、「養育費の支払いは親の義務である」との社会共通認識の醸成への取組や養育費を支払う親に対する税額控除の創設など養育費の支払い履行確保に向けた更なる制度の拡充を要望します。

一 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」や「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、自動販売機等の設置

を積極的に認めていただくとともに、これらの法律の周知に努めていただくよう要望します。

## 【第二部】

「安全安心まちづくり

ふれあいコンサート」

群馬県警察音楽隊OB「ひまわり楽団」の皆様がコンサートを開催していただきました。なじみのある懐かしい楽曲の演奏と実例を盛り込んだ楽しい防犯トークで、有意義な時間を過ごすことができました。母子会員にも飛び入り参加をお願いされ、3名の有志が生演奏をバックに歌声を披露、会場は大盛り上がりでした。最後に「ふるさと」を全員で合唱し、閉会となりました。



## ◆母子福祉団体長表彰

この表彰は、ひとり親家庭及び寡婦福祉の増進に功績のあった者を表彰し

## ○寡婦の部

県母子部代表

桐生市母と子の会監事 茂木典子

高橋副部長からは、娘さんと支え

合って頑張ってきたエピソードとともに、ひとり親家庭に対する新しい制度への期待などが語られました。

また、茂木代表からは、大好きな仕事を子育てと両立しながら頑張ってきたことや母子会との出会いについて語られました。

苦難を乗り越え、自分らしさを大切に生きて来られたお二人の心に響く素晴らしい発表は、私達に感動と勇気を与えてくれました。



### 母子寡婦福祉推進に関する事業

#### ひとり親家庭無料学習支援事業

◆期間 令和七年六月七日(土)～  
令和八年二月二十一日(土)

◆場所 高崎市中央公民館

◆参加児童 十五人

◆内容 ひとり親家庭の原則小学生を対象に、期間中の土曜日(月2回程度)に無料で学習支援を行いました。

この事業は、子ども  
の居場所づくりとともに  
に、保護者同士の情報  
交換や交流を目的とし  
て毎年実施しているも  
のです。

日頃の学習はもちろ  
ん、1日デーの日には、  
絵しりとりなどのレク  
リエーションを行い、  
スタッフやお子さん同



士の交流が深まるよい機会となりました。また、クリスマス会では、お母さんや兄弟にも参加していただき、マジックショーやビンゴ大会など楽しい時間を過ごしていただきました。



ドパントリーのほか、サンタクロースから絵本などのプレゼントも届き、素敵なクリスマス会となりました。

#### ローソン給付型奨学金

ローソン株式会社が全国母子寡婦福祉団体協議会と組んで平成二十九年  
から実施している給付型奨学金です。

令和七年度の実施状況は次のとおり  
です。

◆対象 中学三年生～高校三年生

◆令和七年度本県応募者 三十名

◆選考方法 一次審査(書類)  
二次審査(面接・作文)

◆令和七年度本県採用者 六名

◆奨学金 月額三万円(返還不要)

今年度は十七組の親子に二次審査を受けていただきました。面接では、皆さんが自身の夢に向かって懸命に頑張っている姿に大変感銘を受けました。奨学生に採用された方も、惜しくも採用にならなかった方も、夢の実現に向けたご健闘を心から願っています。

※令和八年度の実施について

申請(応募)期間は、三月二十三日  
から四月二十日(必着)です。詳しくは、県母子会ホームページをご覧  
ください。

#### 第七十八回 関東地区 母子寡婦福祉研修大会

◆期日 令和七年九月二十八日(日)

◆場所 千葉県千葉市

◆内容 本会からは理事長以下十二名  
が参加しました。

研修討議では「目指そう自立、活かそう支援策」「未来へつなぐ、世代の輪」「すべての子どもに安心と希望を！」の三課題について、本会代表の高橋母子部副部長ら六名による体験発表と助言者のコメント、意見交換が行われました。

続いて、行政書士の佐々木あづさ氏による「恩送り―助け合いのすすめ―」と題した講演が行われ、ひとり親で何かあった時や寡婦として今後を考  
える時な  
どに役立つ制度や、  
覚えてお  
くとよい  
ことなど  
をわかり  
やすくお話しいただきました。



その後、決議要望書、申合せについて決議がなされました。

#### 全国母子寡婦福祉研修大会

◆期日 令和七年十一月二十二日(土)

〓二十三日(日)

◆場所 鳥取県米子市

◆内容 本会からは理事長、事務局長が代表として参加しました。

第一日目のオープニングでは、地元  
の伝承文化である「淀江さんこ節」が  
披露され、その後、開会式、表彰式、  
こども家庭庁からの行政説明、全国六  
地区の発表による研修討議が行われま  
した。

第二日目の特別講演「私たちの手で  
つくる地域共生社会」では、全国社会  
福祉協議会会長である村木厚子氏から  
貴重なお話を聞くことができました。  
大会宣言・決議の採択後は、鳥取県出  
身のオペラ歌手、中原美幸氏による「鳥  
取県ゆかりの童謡・唱歌」が披露され、  
二日間にわたる大会は、盛会のうちに  
閉会となりました。



### お母さんのための ホテルランチ&観劇ツアー

- ◆ 期日 令和七年七月十八日(金)
- ◆ 場所 東京宝塚劇場
- ◆ 参加者 三十四名
- ◆ 内容 第一ホテル東京でのランチビュッフェを堪能した後、宝塚歌劇団星組の「阿修羅城の瞳」を観劇しました。トップスターの退団公演だったため特別感もプラスされ、煌びやかな宝塚の世界に一瞬で引き込まれてしまいました。「来年も宝塚がいいわ」という声も聞かれ、企画側もニコニコ笑顔。楽しいランチと素敵な舞台を堪能し、自分へのご褒美として幸せな時間を過ごせた一日となりました。

### 母子部「スマイル・スマイル」に関する事業

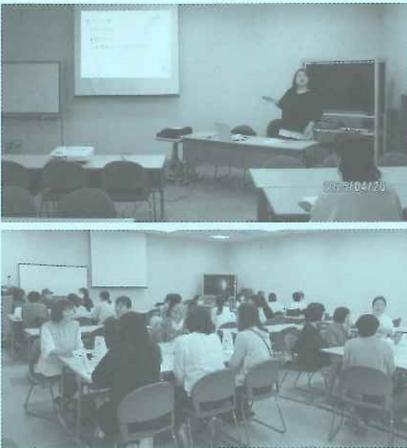
### おしゃべりカフェ(親)& レクリエーション(子)

- (太陽誘電(株)・県共同募金事業)
- ◆ 期日 令和七年四月二十日(日)
- ◆ 場所 県社会福祉総合センター
- ◆ 参加者 四十二人
- (親二十一人、子ども二十一人)
- ◆ 内容 お片付けスクール「シーケンス」代表の山口智子さんを講師にお迎えし、「片付け(整理)の効果」「片付け方法」など楽しく教えていただきました。その後は、5グループに分かれ、

ひとり親ならではの悩みや心配ごとなどを、母子部役員や講師も交えて語り合っていました。

その間、子どもたちは体育室でレクリエーション。NPO法人「あかぎの森のようちえん」の嶋島理事長の指導の下、楽しい時間を過ごしました。

お母さんたちは、コーヒーとスコーンでリラックスした雰囲気の中、気持ちをわかり合える者同士、心を開いてお話ができたようでした。



### 親子交流体験事業

- (県社協社会福祉振興基金事業)
- ◆ 期日 令和七年七月二十七日(日)
- ◆ 場所 キツザニア東京
- ◆ 参加者 親子四十七組 百五人
- ◆ 内容 一昨年大好評だった「キツザニア東京」。今回も応募者多数のため、バスを1台増やしました。

集合時間が朝早かったにも関わらず、子どもたちは元気がいっぱい。楽しみながら、いろいろな仕事にチャレンジしていました。



看護師になって赤ちゃんのお世話



ビューティーサロンでヘアアレンジに挑戦

- ◆ 参加者 親子二十組 四十八名
- ◆ 内容 今年も「子どもゆめ基金」の助成を受けて実施することができました。

まずは、火おこしチームと調理チームに分かれて野外炊事を開始。美味しくできたパエリアをお腹いっぱい食べた後は、探検に出発！木の実や葉っぱをお土産に拾ってきた子たちもいました。

焚き火を囲んで焼いたマシュマロは甘くてとても美味しかったですね。ラストにいわしピクニックさんの元氣一杯で心温まるミニコンサートを夕日の中で楽しみ、キャンプは終了となりました。参加者同士の交流も深まり充実した一日となりました。



おやつは焼マシュマロおいしかった!



火加減が大事

### ひとり親家庭親子交流・体験事業

(県共同募金事業)

- ◆期日 令和七年十一月二十三日(日)
- ◆場所 SUBARUふれあいの森
- ◆参加者 親子七組 十七名
- ◆内容 親子で野外クッキング

「棒巻きパンとポトフ作り」

NPO法人ターサ・エデュケーションにご協力いただき、野外クッキングを実施しました。寒くなってきた野外で食べるパンとポトフは熱々でもとても美味しかったですね。大学生ボランティアによるレクリエーション「宝探し」では、森の中を駆け回りながら、松ぼっくりやどんぐりを嬉しそうに集めていた子どもたち。大事そうに持ち帰る姿もありました。スタッフや参加者同士の交流も十分に楽しむことができました。



おいしくできるかな?

### 東京デイズニールゾートバスツアー

(県・親子ふれあい交流事業)

- ◆期日 令和七年十二月十四日(日)
- ◆場所 東京デイズニールランド
- ◆参加者 親子八十四組 百九十六名
- ◆内容 県内各地からバス五台で行ってきました。夢の国のクリスマスは天気予報どおり雨模様でしたが、クリスマスツリーやパレードが十年ぶりにリニューアルされたためなのか、予想以上に混んでいました。

寒い一日でしたが、参加者はそれぞれにアトラクションやショーを満喫し、心は楽しさで温まっていたようです。



### 親子で冬の自然を思いっきり楽しもう! in宝台樹

(国立青少年教育振興機構)

「子どもゆめ基金」事業

- ◆期日 令和八年二月八日(日)
- ◆場所 みなかみほうだいきスキー場
- ◆参加者 親子十八組 三十八名

◆内容 毎年恒例のスキー教室ですが、今年は家を出る時から雪景色という最強寒波到来の中での実施となりました。初めての方が多かったため、スキー靴や板を履くのにも苦労している姿が見られました。



レッスン開始!



氷点下の中子どもは元気



県庁スキークラブとスキー場のスクール講師の方々の親切丁寧な指導の下、午後はリフトに乗って楽しそうに滑り降りてくる姿を見ることができました。雪が降りしきる中でのスノーシュー体験も忘れられない思い出となりました。

### 親子スケート教室 in伊香保

(県・親子ふれあい交流事業)

- ◆期日 令和八年二月十五日(日)
- ◆場所 伊香保リンク
- ◆参加者 親子十六組 三十四名
- ◆内容 昨年から実施しているスケート教室ですが、今年も多くの方が参加してくれました。参加者の多くが初心者でしたが、スケート連盟の講師の方々に丁寧に指導していただき、あっという間に手すりや補助具を使うことなく滑れるようになっていました。

宝物探しゲームや全員リレーも楽しかったですね。「もっと滑りたい」「来年も参加したい」という声を聞くことができました。道に雪が残っていたため、運転が心配な方はロープウェイを利用して来ていただきましたが、好天に恵まれ、景色も楽しんでいただけたようです。



そろり、そろり・・・



あっという間にスイ〜



おつかれさま。楽しかったね

### 代表者会議(第一回) ・全体会議

- ◆ 期日 令和七年四月二十日(日)
  - ◆ 場所 県社会福祉総合センター
  - ◆ 内容 令和六年度の事業報告と令和七年度の事業計画について、意見交換を行いました。
- 代表者会議後、「おしゃべりカフェ(親)&レクリエーション(子)」を実施。引き続き、事業参加者全員出席の下、全体会議が行われました。

### 代表者会議(第二回)

- ◆ 期日 令和七年十二月六日(日)
- ◆ 場所 県社会福祉総合センター
- ◆ 内容 令和七年度事業の進捗状況の報告と令和八年度事業計画の説明の後、事業内容の詳細について検討が行われました。

### 母子家庭等就業支援対策に関する事業

#### 母子家庭等

#### 就業・自立支援センター事業

ひとり親家庭の母(父)の就業を支援するため、群馬県、前橋市及び高崎市からの委託を受け「群馬県母子家庭等就業・自立支援センター」を運営しています。

《ひとりで悩まずに  
お気軽にご相談ください》

- ◆ 場所 県母子会内
- ◆ 利用時間 午前九時〜午後五時  
(年末年始を除く平日)

#### 一 無料職業紹介事業

就業支援のため、無料で職業紹介を行っています。

#### 二 自立支援プログラム策定

ハローワークなどの関係機関と連携して、相談者と一緒に自立に向けたプログラムを策定し、就業を促進しています。

#### ○ひとり親家庭住宅支援貸付事業

母子・父子自立支援のプログラム策定を受けたひとり親家庭の希望する方に対し、自立の促進を図ることを目的として、無利子で住宅支援資金の貸付を行っています。まずは当センターでプログラムの策定を受けていただいてから貸付を行う機関(県社会福祉協議会)にお繋ぎします。貸付から一年以上内に新規に就業し、一年間就業継続できた場合等には返還が免除されます。

#### 三 就業相談・就業支援

就業に関する相談のほか簿記講習会や母子・父子自立支援員を対象とした研修会等を実施しています。

#### 四 養育費相談

相談員による相談のほか弁護士による無料相談会を実施しています。

また、当センター内でも、ハローワーク就業情報の閲覧・検索が可能となっております。

さらに、市町村やハローワークと連携して、児童扶養手当受給者が現況届を提出する時期に合わせて市町村に出向き、出張相談会を開催しています。令和七年度は、十四市町村で延べ四十二人の相談を実施しました。

### 弁護士による養育費等 無料相談会

- ◆ 期日 令和七年六月十四日(土)  
令和七年十一月八日(土)  
令和八年二月十四日(土)  
令和八年三月十四日(土)
- ◆ 場所 県社会福祉総合センター
- ◆ 参加者 二十人

◆ 内容 ひとり親家庭の方や離婚を考えている方を対象に、弁護士による養育費等の無料相談会を実施しました。養育費のみならず、親権、親子交流、慰謝料、離婚調停、借金などの相談にも専門家の見地からアドバイスをいたしました。

### 就業支援簿記講習会

- ◆ 期日 令和七年十月五日(日) から  
十一月三十日(日)まで  
(計八回)
- ◆ 場所 中央総合学院TAC群馬校
- ◆ 参加者 十四名
- ◆ 内容 日商簿記三級取得に向けた対策講座を開催しました。短い期間でし

たが受講者からは「勉強から離れていたが、今回簿記を学ぶことができてよかった」「独学では難しかったが、講習を受けて理解が進んだ。検定に挑戦したい」などの声が聞かれました。



### 相談関係職員研修

- ◆ 期日 令和七年十一月二十一日(金)
- ◆ 場所 県社会福祉総合センター
- ◆ 参加者 二十人
- ◆ 内容 前橋公証人合同役場・公証人の吉田幸久氏を講師にお招きし、「離婚給付等契約公正証書の効能について―ひとり親世帯の生活の安定のために―」と題してご講義いただきました。公正証書作成までの流れや改正民法による法定養育費制度と一般先取特権などについて、わかりやすく教えていただき、出席者からは「専門的なことだが、業務の中で質問されることも多

かったため、詳しく知ることができてよかった」「具体的な事例を交えての説明で理解しやすかった。今後の業務に活かしていきたい」などの感想をいただきました。



### ひとり親支援講座

◆期間 令和七年十二月六日(土)

◆場所 県社会福祉総合センター

◆参加者 十人

◆内容 (公財)家庭問題情報センター主任研究員の高野篤雄氏を講師にお招きし、「子どものためにできることって何だろう」をテーマに、養育費・親子交流について学ぶ講座を開催しました。親子のメンタルケアや離婚時の大切な取り決め、民法の改正点などについて詳しくお話しいただき、参加者からは「何もわからない状況だったので、有意義な内容だった」「少人数で丁寧の説明をいただけて良かった」などの声が聞かれました。講座終了後も個別に相談を受けておられた高野先生には深く感謝申し上げます。

### 要望

◆県社会福祉協議会を通じ、県及び自民党群馬県連に対し、自動販売機設置に関する要望を行いました。(令和七年九月)

◆自民党政調懇談会において、自動販売機設置に関する要望を行いました。(令和七年十月)

◆県女性団体連絡協議会を通じ、県に対し、養育費等確保支援事業及び自動販売機設置に関する要望を行いました。(令和七年十一月)

### 表彰

母子会関係者が次の表彰を受賞されました。

1 群馬県総合表彰

○受賞者 小林活代

(県母子会副理事長・沼田市母子会長)

○受賞年月日

令和七年五月三日

### 評議員改選(敬称略・順不同)

令和七年五月三十日(金)に開催された評議員会において、次の方が選任されました。任期は「令和七年五月三十日から令和十一年定時評議員会終結のときまで」です。

- 北爪千代子 遠藤秀子 稲葉洋子
- 村岡大恵 宮田晴美 鈴木和代
- 関 由美 高橋幸恵 西巻佐和子

### 御支援いただいたみなさま

○フードパントリー

NPO法人よっちゃん家 井野川様

○カラオケまねきねこ招待券

(株)コシダカ様

○ランドセル

(有)カザマ(奈良県)様



○コットンプラトップ(2枚組)

Costco Wholesale  
Japan 前橋倉庫店様

○生理用品  
連合ぐんま女性委員会様

○うるアップカラーゲンパウダー  
(株)ロッテ・(二社)食支援協力会様

○「旧県母連」からの寄付金

次の事業に使わせていただきました。

・ローン給付型奨学金事業

・ひとり親家庭体験研修事業

「キッズニア東京」

・子どもの自然体験活動事業

「親子で秋の自然を楽しもう!」

「親子で冬の自然を思いっきり楽しもう! in宝台樹」

・親子ふれあい交流事業

「東京デイズニールンドツアー」

・共同募金事業

「ひとり親家庭無料学習支援事業

(高崎教室)」



お友達登録  
719名達成!!  
(R8.3.1現在)

いち早くお役立ち情報をお届けします!県母子会ホームページからカンタンに登録できます!まだの方はぜひ!

登録は  
県母子会  
HPから!→



ひとり親家庭の輪をつなごう！

がんばってます！市町村母子会

「年間を通じて楽しいイベントを」

藤岡市母子会

藤岡市母子会では、年4回イベントを行っています。

まず、5月には小さいお子さん向けの緑日を行います。役員会で子どもたちが楽しめる内容を話し合い、焼きそばやフランクフルトの提供、くじ引きや輪投げ、ヨーヨー釣りなどを行いました。9月は毎年デイズニードとシーを交互に行っており、会員も一番楽しみにしている行事になっています。11月は藤岡市の「みかん観光農園」でみかん狩りをした後、地域づくりセンター鬼石に移動し、親子で体を使ったゲームやマクラメ紐を使った制作を楽しみました。12月のクリスマス会では、消防署見学も行い、施設や車両、訓練の様子を見学したほか、訓練棟に登ったり、はしご車に乗ったりと貴重な体験ができました。最長30メートルまで伸ばしたはしご車からは、遠く県庁まで見ることができました。



これからも、1年を通し役員さんと密に連絡を取り合いながら会員さんが楽しめる母子会活動を目指して行きたいと思えます。

令和8年度行事日程(予定)

月	日	行 事
4	20(月)	「ローソン奨学金」申請受付締切
	19(日)	第1回母子部代表者会議・全体会議 おしゃべりカフェ(親)&レク(子)
	24(金)	幹部・事務担当者研修会
5	15(金)	理事会
	29(金)	評議員会
6	上旬～	弁護士による養育費無料相談会(年4回)
	13(土)	無料学習支援教室開講式
	21(日)	第1回県民大会準備委員会
7	未定	関東地区母子部長会議
	10(金)	自分へのご褒美旅行「観劇&ホテルランチ」
	26(日)	ひとり親家庭体験研修
8	中旬	市町村出張就業・養育費相談会(～12月)
10	上旬	簿記研修会(～11月下旬)
	上旬	理事会
	中・下旬	(親子キャンプ) ※子どもゆめ基金事業採択の場合

月	日	行 事
11	1(日)	全国母子寡婦福祉研修大会及び第79回 関東地区母子寡婦福祉研修大会(長野県伊那市)
	上旬	第2回県民大会準備委員会兼係員打合せ会議
	上旬	母子・父子自立支援員研修会
	中旬	親子交流・体験事業
	28(土)	第74回 群馬県母子家庭・寡婦福祉県民大会
12	上旬	第2回母子部代表者会議
	上旬	正副理事長会議
	中旬	東京ディズニーリゾートツアー
2	上旬	(親子スキー教室・スノーシュー体験) ※同
	中旬	親子スケート教室
	20(土)	無料学習支援教室閉講式
3	上旬	機関紙「母と子」発行
	中旬	理事会
	中旬	全国母子部長研修会
	下旬	評議員会

いぬごやし

今年一月末で県母子会を退職いたしました。就業・養育費相談員を約十年務めさせていただき、業務を通じて皆様にも多くのことを学ばせていただきました。感謝申し上げます。ここでの経験を次に活かしていきたいと思えます。県母子会関係者皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

今度、令和八年三月末をもちまして県母子会を退職いたします。約十一年間、ひとり親家庭の就業・養育費等の相談員として勤務してきましたが、その間、相談者の方から学ぶことも沢山ありました。お世話になった方々に感謝するとともに県母子会のご発展とご活躍をお祈りいたします。

(O)

「春は別れの季節」という定番の言葉が母子会にも訪れてしまいました。長く相談員を務めてきた二人が退職となり、四月からは新しい体制でのスタートとなります。新メンバーが気になる方は、ぜひ母子会に遊びに来てください。引き続き、皆様からのご支援とご協力をお願いいたします。

(T)

編集後記



そして、新しい一歩を踏み出したお二人に心からのエールを！

(M)